



令和5年度9月補正予算 主要事業の概要

令和5年9月
山形県

目 次

【総務部】

- 東北公益文科大学の公立化・機能強化の検討（ベンチャー育成の取組みへの支援） 1

【健康福祉部】

- 低所得世帯に対する物価高騰対策臨時特別支援事業費 2

【産業労働部・観光文化スポーツ部】

- 海外プロモーション事業 3

【農林水産部】

- 施設園芸用燃油価格高騰対策支援事業費 4
- 畜産所得向上支援事業費（省エネルギー設備等導入支援） 5
- 県産水産物魚価向上チャレンジ事業費 6

【教育局・総務部】

- 市町村立中学校・県立学校・私立高等学校への可搬式冷房機器の整備 7

【警察本部】

- 迷惑電話防止機能付き固定電話機の購入支援 8

目的

- 東北公益文科大学の公立化・機能強化の検討にあたり、大学の持つ知的財産を活かして、地域課題の解決を図るシンポジウム開催（これまで5回開催）などの取組みを行っている。
 - 起業家マインドを持った人材を育成し、地域の活性化につなげることが、本県の課題解決はもとより、学生にとって更に魅力ある大学としての情報発信にもつながることから、シンポジウムの成果を踏まえ大学が設置する「起レ業（ぎょうをおこす）研究所」(※)などのベンチャー育成に対する支援を行う。〔補助率1/2〕
- (※) 起業家育成に係る教育プログラム構築に関する研究を行う
東北公益文科大学の研究機関（令和5年度設置）

事業内容

- ① 「起レ業（ぎょうをおこす）研究所」発足記念シンポジウムの開催
 - ・ 起業家育成の意義、本県・庄内地域の経済特性や研究所において今後の取組みが必要となる事項について課題提起を行う。
- ② 「スタートアップセミナー（仮称）」の開催
 - ・ 本県にゆかりのある起業家や、スタートアップの支援実績を有する者による講演・講義
- ③ 起業家育成プログラムの構築
 - ・ 先進事例の調査研究等により令和6年度からの講義の開講に向けてプログラムを構築



(シンポジウム開催状況)



(東北公益文科大学)



低所得世帯に対する物価高騰対策臨時特別支援事業費

142,285 千円

目的

- エネルギー・食料品価格等の物価高騰が低所得世帯の生活負担に拍車をかけている状況を踏まえ、低所得世帯の負担軽減を図るため、現行の冬季の灯油購入費等の助成に加え、臨時的措置として今年度に限り上乗せ支援を行う。

事業内容

低所得世帯に対する灯油購入費等の臨時的な支援

142,285千円

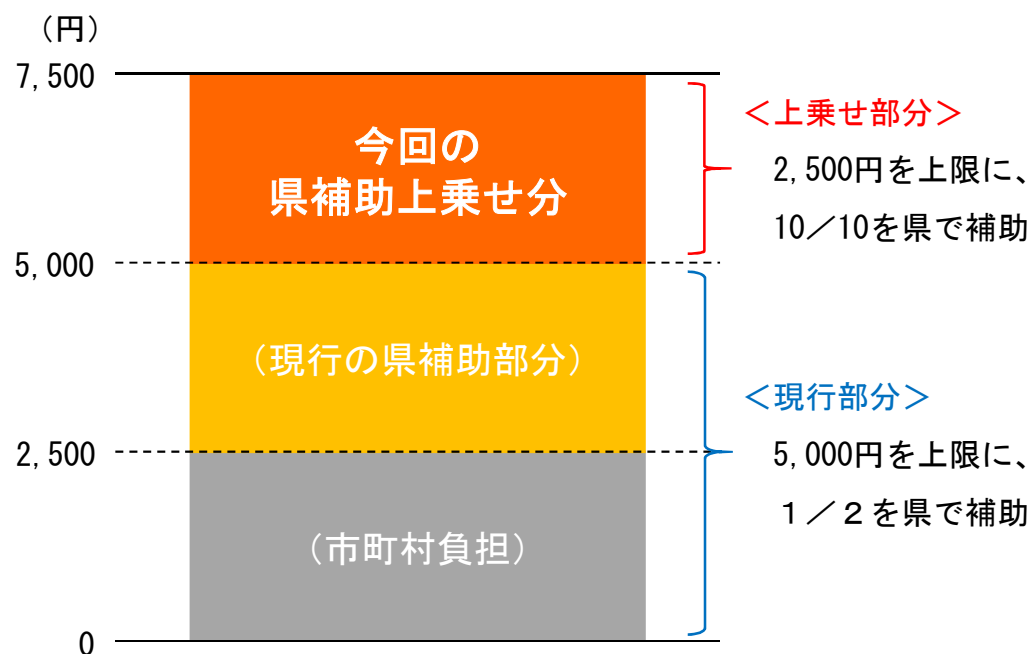
【1世帯当たり助成額のイメージ】

低所得世帯（※）を対象に、市町村が冬季の灯油購入費等を助成する場合、今年度に限り、県が市町村に対して補助する額を上乗せ

〔上乗せ支援分〕 1世帯当たり2,500円

⇒ 現行の助成制度（1世帯当たり5,000円）と合わせ、1世帯当たり7,500円の助成

※ 高齢者のみの世帯など市町村が支援の対象とする世帯



海外プロモーション事業

16,600 千円

県産日本酒プロモーション

目的

- 令和4 酒造年度全国新酒鑑評会において、本県産の日本酒が金賞受賞数で全国1位となった好機を捉え、県産酒の主要輸出先において県産日本酒のプロモーションを実施し、海外での販路開拓を図るもの

事業内容

- 県産日本酒プロモーション 12,210千円
 - ・ 県産酒の主要輸出先において販売促進事業を実施し、特に、最大の輸出先である米国において、現地の飲食店関係者等に対し「日本一美酒県やまがた」をPR



【おいしい山形プラザにおけるPR販売の様子】

観光誘客プロモーション

目的

- コロナ禍により運休中のタイ・バンコク＝仙台便の再開や現地で人気の高い冬春季の観光誘客が期待できるタイにおいて観光誘客プロモーションを実施し、本県とタイとの観光交流の促進を図るもの

事業内容

- 観光誘客プロモーション 4,390千円
 - ・ タイにおいて、現地旅行会社や航空会社をはじめ、観光関係者を訪問し、タイ・バンコク＝仙台便の再開や観光交流の促進を図るためのPRを実施



【タイからの観光客の歓迎セレモニーの様子（2019年）】



目的

- 燃油価格高騰の影響を受け、県内の施設園芸農業者は厳しい経営状況に直面しているため、園芸用施設の加温用A重油等の燃油購入費用の一部を支援することにより、施設園芸農業者の経営の安定を図る。

■ 燃油価格高騰支援のイメージ



事業内容

- 施設園芸用燃油価格高騰対策支援 39,180千円

- ・ 令和5年10月～12月のA重油及び灯油の全国平均価格が基準価格を超えた場合にその差額の一部を助成

【補助対象者】

施設園芸を営む農業法人、農業者、
農業者が組織する団体

【補助要件】

省エネルギー取組計画の作成など

【補助率】

1/2



施設園芸用加温ハウス



加温ハウス内での栽培管理

目的

- エネルギー価格高騰の影響を緩和するため、畜産物の生産過程におけるエネルギーの削減に取り組む畜産農家に対して、省エネルギー設備等の整備に要する費用の一部を支援することにより、持続可能な畜産経営を推進する。

■ 省エネ対策の設備等の例



インバーター制御装置



バルククーラー



インバーターファン



ヒートポンプ

事業内容

- 省エネルギー設備等導入支援 16,699千円

- ・ 畜産物の生産過程におけるエネルギーの削減による収益性の向上に向けた設備等の導入経費の一部を助成

【事業主体】

農業者団体（2戸以上の畜産農家）、農業法人、農業協同組合、農業協同組合連合会、市町村

【対象家畜】

家畜全般（乳用牛、肉用牛、豚、鶏、めん羊、山羊等）

【補助率】

1/3※

※市町村等による協調補助がある場合は1/12を上限に上乗せ



目的

- 深刻な水産資源の減少や生産費（燃油代等）の高騰により、漁業者は厳しい経営状況にあるため、限られた漁獲資源を有効活用して活魚の出荷拡大に取り組むとともに、県漁協直営の県産水産物直売店への支援を行い、魚価向上に取り組む。

事業内容

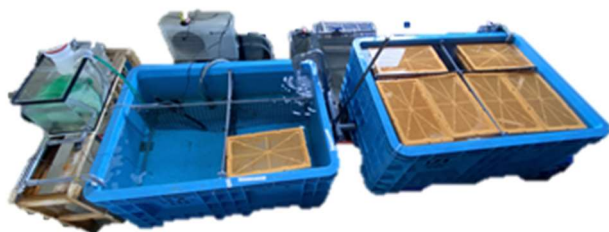
① 活魚による魚価向上対策事業 2,673千円

- ・ 庄内浜ブランド創出協議会が行うスルメイカのブランド化に向けた取組みについて支援（協議会への負担金）

○ 活イカ出荷体制整備

「活イカ」としての出荷は高値の取引につながるため、必要な活魚水槽、冷水機及び梱包機器を由良漁港に設置し、出荷体制を整備

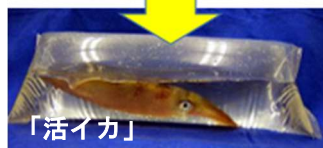
■ 設置機器のイメージ



活魚水槽



冷水機



「活イカ」

梱包機器

○ 応援店での活イカ利用チャレンジ

「活イカ」の価値を知ってもらうとともに活魚全般の利用を促進するための「活イカ」お試し利用の飲食店への支援

- ・ 販売促進資材作成
 - ・ 参加店舗への助成
- （補助上限：1店舗あたり2万円）



② 県産水産物直売トライアル事業 1,451千円

- ・ 県漁協直営の「庄内海丸」2号店オープン（山形市内、11月予定）を契機とした魚価向上と販路拡大に向けた人員体制強化（販売コーディネーター、加工・販売支援員）への支援

【補助率】

1/2



「庄内海丸」2号店のイメージ（画像は1号店）

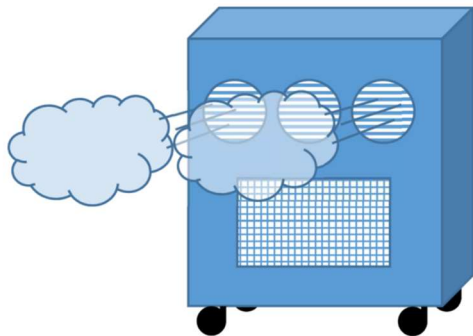


目的

- 市町村立中学校、県立学校、私立高等学校の体育館等での熱中症対策として、運動中の定期的なクールダウンが可能となるよう、可搬式の冷房機器（スポットクーラー等）を整備するもの。

事業内容

- ① 市町村立中学校へのスポットクーラー等設置補助
94,000千円
1校当たり2台設置を基本として、スポットクーラー等の整備に係る経費の1/2を市町村に補助
(補助上限額: 1校当たり1,000千円)



- ② 県立学校へのスポットクーラー設置 165,220千円
 - 県立高等学校への設置
体育館に2台、柔剣道場に1台設置を基本としてスポットクーラーを配置
 - 県立特別支援学校への設置
体育館に1台設置を基本としてスポットクーラーを配置
- ③ 私立高等学校へのスポットクーラー設置補助 50,083千円
体育館に2台、柔剣道場に1台設置を基本として、スポットクーラーの整備に係る経費を私立高等学校に定額補助

目的

- 迷惑電話防止機能付き固定電話機への買い換えを促進するキャンペーンを実施することにより、同電話機の普及拡大による特殊詐欺被害防止対策の強化を図る。

事業内容

迷惑電話防止機能付き固定電話機への 買い換えキャンペーンの実施

| | |
|------|---|
| 対象 | 県内にお住まいで、対象店舗において迷惑電話防止機能付き固定電話機を購入された方（個人） |
| 購入特典 | ギフトカード5,000円分 |
| 予定件数 | 5,000件 |

